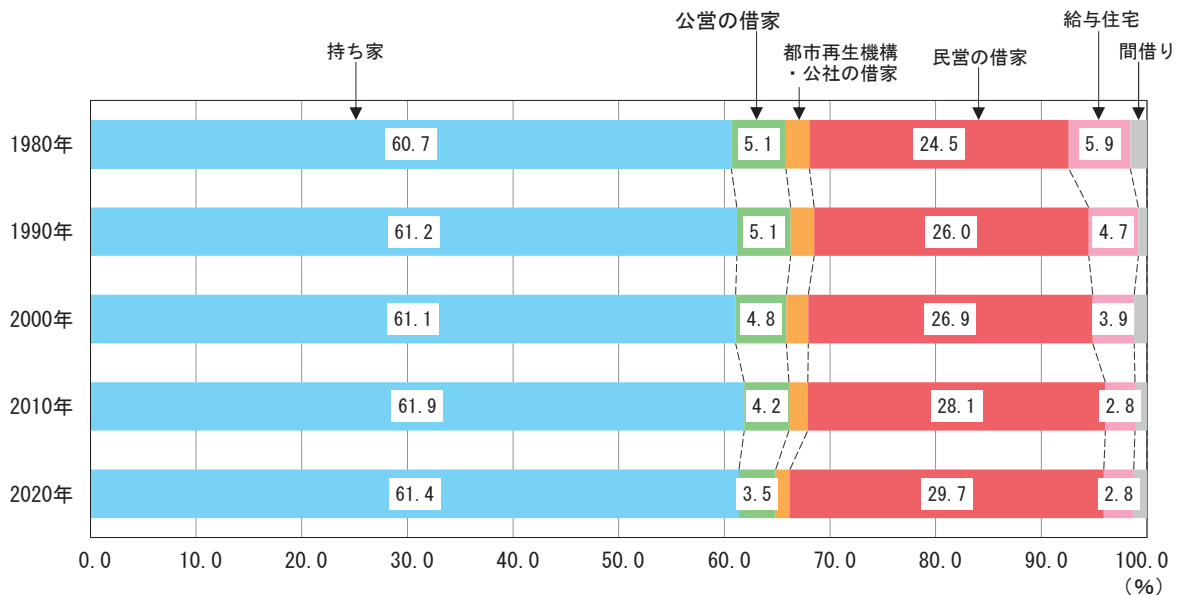


## 2-9 住宅 –現代の住宅事情は？–

「自分の家が欲しい」という夢をもったことはありませんか？ 持ち家に住む世帯は増えているのでしょうか？ また、地域によって違いはあるのでしょうか？ 日本の住宅事情についてみていきましょう。

### Q1 持ち家に住んでいる世帯の割合はどれくらい？

住宅に住む一般世帯の住宅の所有の関係別割合の推移—全国（1980年～2020年）



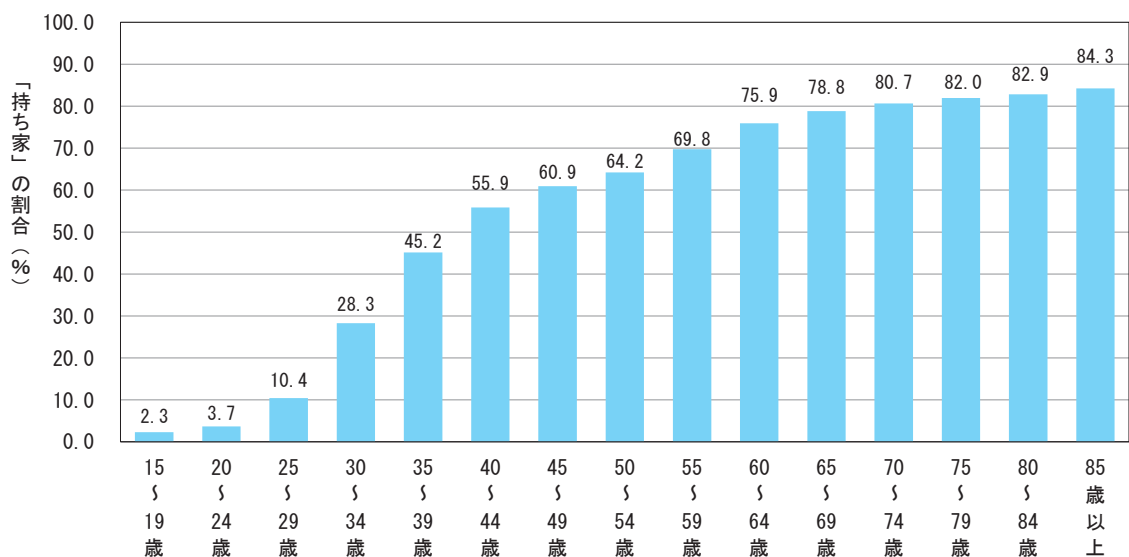
#### A 2020年の持ち家の割合は61.4%

◆ 持ち家に住む世帯の割合は、この40年にわたり大きな変化がない

注意点⑩ P. 40

### Q2 持ち家に住むのは何歳から？

15歳以上世帯主の年齢（5歳階級）別  
住宅に住む一般世帯の「持ち家」の割合—全国（2020年）

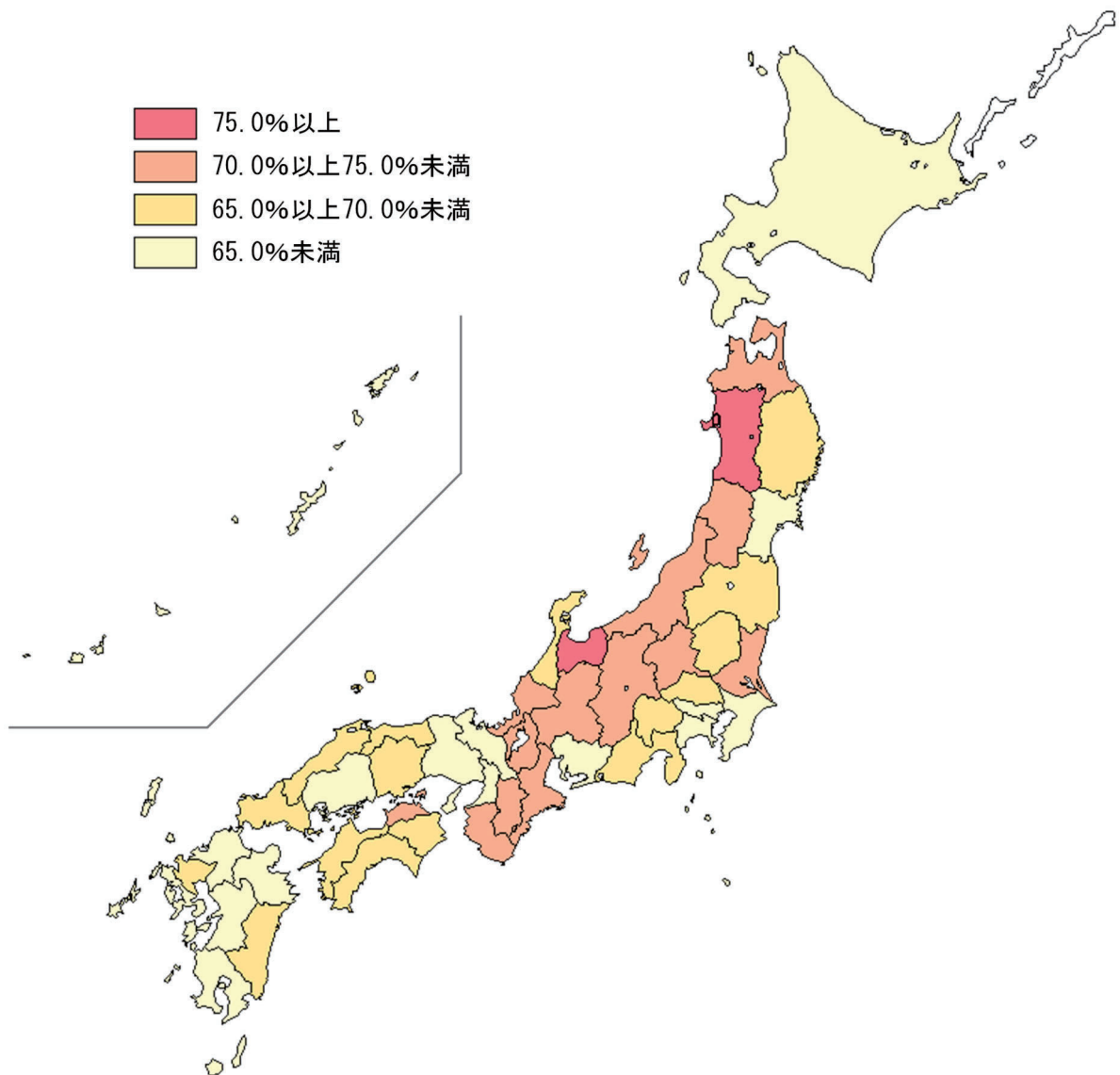


#### A 40～44歳で「持ち家」に住む割合が半数を超える(55.9%)

◆ 世帯主の年齢階級が高くなるにつれて「持ち家」に住む世帯の割合は上昇し、70歳代前半で8割を超える

### Q3 持ち家に住む世帯の割合が最も高い都道府県はどこ？

住宅に住む一般世帯の「持ち家」の割合—都道府県（2020年）



#### A 秋田県が77.6%と最も高い

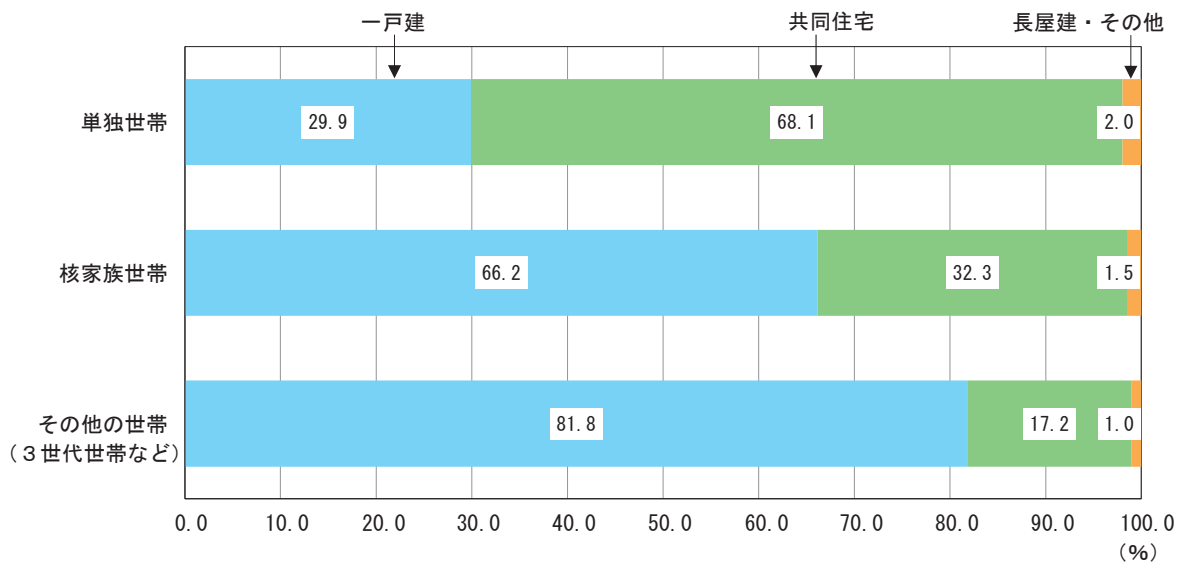
◆ 2位 富山県（76.6%） 3位 山形県（74.8%）

◆ 「持ち家」の割合が低い都道府県は

1位 東京都（46.1%） 2位 沖縄県（46.4%） 3位 福岡県（52.6%）

## Q4 家族構成で住む家はどのように違う？

住宅に住む一般世帯の家族類型別住宅の建て方の割合—全国（2020年）



**A 単独世帯では共同住宅、それ以外の世帯では一戸建が最も多い**



《ポイント》

例えば、「夫婦、子供と両親から成る世帯」のような世帯を3世代世帯と呼びますが、これらの世帯では単独世帯や核家族世帯よりも大家族であることが多いことから、共同住宅よりも一戸建に住んでいることが多いと考えられます。